

柔道競技

1 期 日 令和8年9月19日(土)

2 会 場 宇美町立武道館

3 実施要項

(1) 種 別

一般男子 (5人制)

青年男子 (5人制、3人制)

(2) チーム編成

[5人制]

監督1名、選手5名で編成する。

一般男子…4段以下5名

郡市単位、政令市は区単位で編成

青年男子…先鋒(73kg以下)、四将及び中堅(90kg以下)、副将及び大将(無差別)

郡市単位、政令市は区単位で編成

[3人制]

監督1名、選手3名で編成する。

青年男子…先鋒(73kg以下)、中堅(90kg以下)、大将(無差別)

郡市単位、政令市は区単位で編成

※**青年の部**は各郡市3人制・5人制合わせて2チームまで出場可。(いずれかのみ2チームも可)

※**青年の部**の学生の参加は、5人制：2名以内 3人制：1名以内 とする。

(3) 競技方法

点取りトーナメント式

試合時間4分

同率同内容の場合は、引き分けの対戦から抽選で代表戦を行い、必ず勝敗を決する。

※青年男子の順位決定

5人制・3人制は、それぞれ1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、その合計点数により総合順位を決定する。同点の場合は、次の順位のものに加え、当該郡市で等分する。**ただし、表彰については、5人制・3人制それぞれ行う。**

(4) 競技規則

国際柔道連盟試合審判規定(最新の審判規定を採用)。

2026年全日本柔道連盟に登録した者。

(5) 注意事項

ア 一般において、選手の配列は段の順位とする。

イ 競技に際し、柔道衣(背中)には、必ず所属郡市名及び姓名を下の図のように縫い付けること。

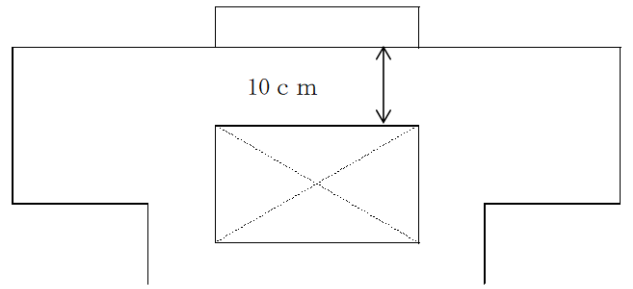
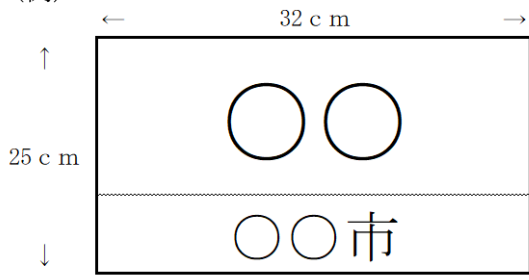
ウ 布地は白色

エ 名字(姓)は上側の3分の2

所属郡市は下側の3分の1

オ 書体は太いゴシック(楷書)黒色で書く。

(例)



■柔道競技（障がい者（視覚）の部）

- 1 期 日 令和 8 年 9 月 19 日（土）
- 2 会 場 宇美町立武道館
- 3 内 容 視覚障害者柔道の体験（30 分間）
講師等 調整中

(1) 視覚障害者と視覚障害者柔道について → 5 分

J1（全盲：視力 0.0025 より悪い）

J2（弱視：両眼視で 0.0032 から 0.05 以内の視力または、視野直径 60 度以下）

(2) ルールについて → 5 分

ア 選手の誘導方法

イ 最初の組み方

ウ 「待て」の後の「組み方」

エ 「場外」「指導」「技あり」等の選手への伝え方

(3) 体験練習（KUNDE 柔道） → 20 分

実際に動いて体験

- ・稽古を始める前にやっておくこと
- ・準備体操の時には
- ・乱取りの際に気を付ける点
- ・技をどう教えるか

(4) 練習場所の協力依頼